

研究課題番号	S-16-2
研究課題名	多様なステークホルダーの活動・原動力に根ざしたアジアの消費・生産パターンの転換方策
研究実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	田崎 智宏

## 1. 委員の指摘及び提言概要

このテーマは「多様なステークホルダーの活動・原動力に根ざした」というところにあると思われるが、サブ1とサブ2のキーワードがそれぞれ「ライフスタイル」と「企業の環境経営モデル」で、それぞれに良い成果を上げているものの、ステークホルダーの視点から、両者の関係を整理して欲しかった。多様な社会・経済状況にあるアジアを対象にして、SCP 政策との共創プロセスを示し、成果を上げている。日本とタイを比較することで、SCP へのアプローチに関する示唆が浮き彫りになった。さらに、人が生活し、企業が活動する具体的な地域についての考察があれば研究成果の実装がわかりやすくなるであろう。アジアにおけるリマン製品普及とその戦略的アプローチ、冷房エネルギー削減とその戦略的アプローチについて政策マッピングが示されたことは評価できる。こうした政策マッピングを踏まえて、具体的な政策パッケージが先進国で共有できるかどうかについて、検討・評価がなされているとよかった。

## 2. 採点結果

評価ランク：A